

地域の危険度マップ

地域の危険度マップについて

この地域の危険度マップは、字や町丁を単位とした地域ごとに分布する建物の特性（建物の構造と建築年次）に基づき、揺れやすさマップに示した揺れの大きさによる建物全壊率（地域内の全ての建物の中で揺れにより全壊する建物の割合）を評価し、取りまとめたものです。

これは、過去の地震被害における全壊建物のほとんどが、建築基準法改正前の昭和56年以前に建築された木造建物であることに基づいています。したがって、古い木造建物が多い地域で、揺れが大きいほど相対的に危険度が高くなります。

なお、この地域の危険度マップは、地震による個々の建物の危険度を表したのではなく、各地域の平均的な建物被害の危険性を表示したものです。

建物の被害とは？

地震による建物被害は、主に揺れと建物の構造に基づくもので、揺れにより建物の柱や梁などが破壊され、全壊、半壊、一部損壊といった被害が生じることになります。なお、全壊等の被害の定義は、「災害の被害認定基準」の中で国によって定められています。



全体または一部の階が倒壊した状態

全壊 居住のための基本的機能を喪失した状態



柱・梁の破損により、内部空間が欠損した状態

半壊 居住のための基本的機能の一部を損失した状態



一部損壊 壁面の亀裂及び外装材、ならびに屋根瓦の剥落などがある状態

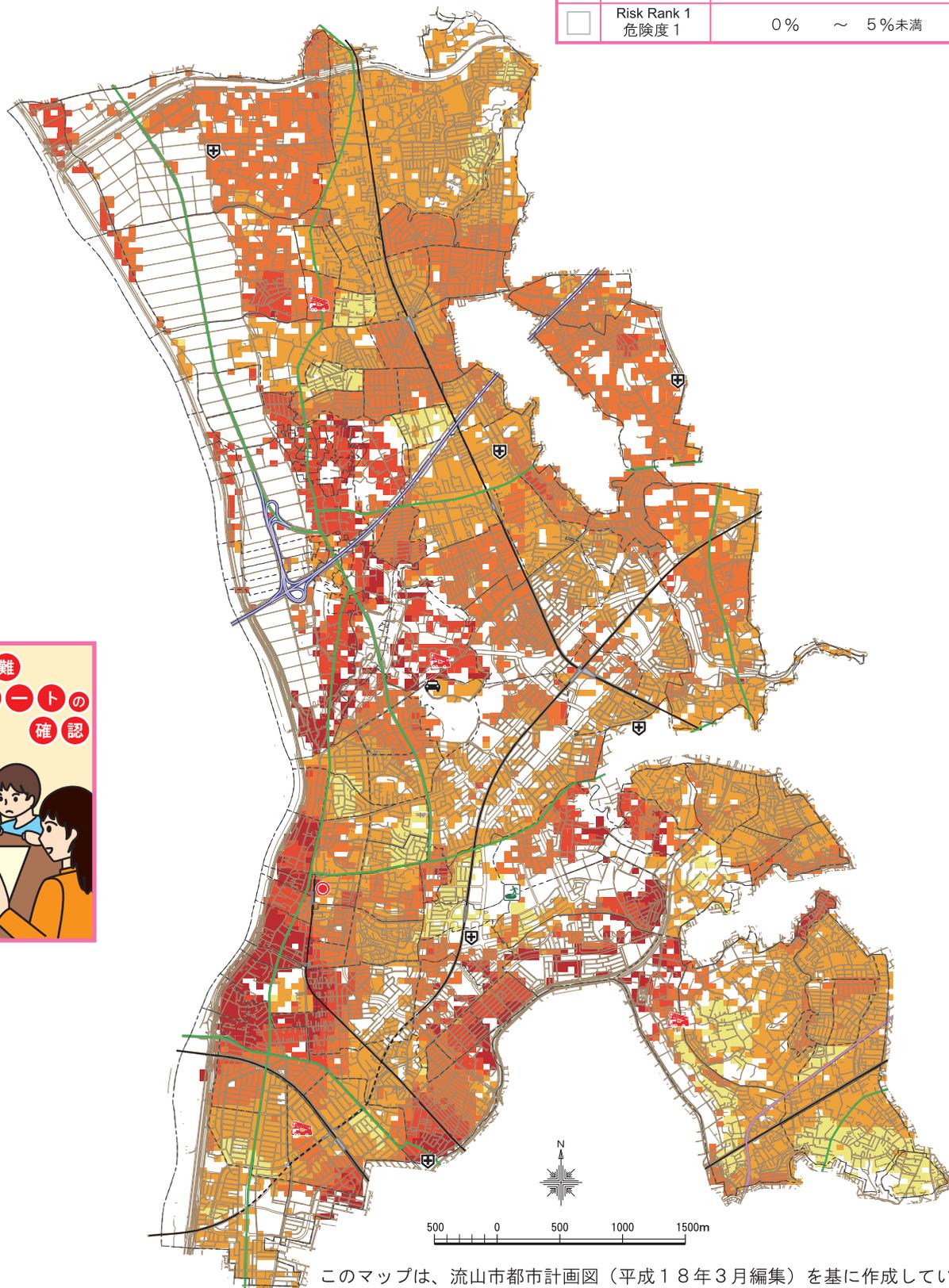


無被害 被害が生じていない状態



凡例 Legend

Rank of District Risk 地域の危険度ランク	Ratio of Buildings with Heavy Damage 地域内の建物の中で全壊する建物の割合
Risk Rank 6 危険度 6	25%以上～
Risk Rank 5 危険度 5	20%以上～25%未満
Risk Rank 4 危険度 4	15%以上～20%未満
Risk Rank 3 危険度 3	10%以上～15%未満
Risk Rank 2 危険度 2	5%以上～10%未満
Risk Rank 1 危険度 1	0%～5%未満



このマップは、流山市都市計画図（平成18年3月編集）を基に作成しています。